

朝鮮日報

中華民國二十二年五月十六日
第八五八號
庚申年四月廿二日

[illegible]

連續發

車列行

表開行發

唐三院海監

國津製信能

五九五九五九
五五六六六六
五五五五五五
五六一六一六

若松駒大
本館酒 市

萬一二
成者九二
三七四二

後二
四九二八
〇四九二

伊深東張寶
龍川國縣國

一二五二一
〇四二四三
六五七六三
七七八八八
四五六六六

美馬坤
尼毛神
江毛神
八八八
九八八
一五五
一六五

五五五
金八八
金八八
金八八
金八八
金八八

康天井
歡山齊

一〇〇〇
〇五二〇
〇五二〇
〇五二〇
〇五二〇
〇五二〇

五五五四四
五五五四四
五五五四四
五五五四四
五五五四四
五五五四四

富富水新興
清谷原店山

一〇〇〇
四九六二
四九六二
四九六二
四九六二
四九六二

七七七六六
三三三六六
三三三六六
三三三六六
三三三六六
三三三六六

は事業の成功を希望するに當時、失敗は難免なるも、斷りて其責重なる事歟。然るに、是等失敗に親近し見れば、何れか必ずや其原因を察して是は抑へ得べきものなりと認めざるは、一事業にして、費用と供給と各々相半する時は、通常事業は多大の成功なき代りに亦多大の失敗なし。

二事業にして、費用増進し、供給乏しくせば、少く時は其營業者は必す成功者として失敗少し。

三事業にして、費用減少し供給増加せば、通常事業は最も失敗せず、成功多し。

當業者は最も失敗せず、成功多し。當業者の失敗は、他は損益の原點の分析によるものと雖、必ずしも經營者の認むるものなりと認めず、必ずしも經營者の認めて以て善し其錯誤を是よりとなすものにして、或は勝利或は失敗するものをもたして、所計を得るのは、蓋し數回なる第三、第四の間に該營業する原因と有せざるもの有りや餘なし。

今實例の一端を舉げば、明治明治初期、今般那の當時に於ては、突然して百萬悉く封鎖の衝動を脱して、文明の新業を著くるに汲みたる暇ありしが、或は政治を初め、實業に、教育、宗教に漸く投資の趨勢若しく増進、居られたる際にも、而も當時國內には未だ酒の徒衆を以て充たされ所謂真正なる商人材乏のものなつては明瞭なれば、たゞに到底至所限の費用に對し供給不能はざるの故を以て、此不足を補填充實する爲には、賁費は勢ひ欠点ある運當のものなりと雖ども敢て歡迎なさざるを得ざる事情の存したるに依り、尙も新取の氣概を有して事業家經世家を以て自ら居るものは、其實格の厚薄を辨別せず、第一地歩を造り、自己の手足が弛虎の風雲に會したる如く、跳躍奔飛し朝到晚達、左手に名を抛し、右手に利を獲し、斯の如くにす。意に盡き今日あらに至る、而して其同時に小強姦小盜賊を奉れたる事なき能はずとぞ。素以て大局の運行を妨げて、來日抑鬱の煩悶となり得んもの、幾んど眞に痛へるものなり。蓋し其種々及ぶならん所以、畢竟需用の増加せる時勢の恵む結果たる

工に名を成せし者其時局に活躍せり
は明治初年に三十二年四月の事なり
の需出過ぎる時代にして朝鮮人十の
九は使へなす時難なきと雖も一顧して
十年以後、則ち今日に至るや、朝鮮全
國時代に反響を與へしつゝあるが如し
時に際したる事業たるもの、當代に於
て先づ國家の事情を考慮して容易に成功
明に就するを得るものなし、此點を本
事を論じ、果を以て甚大收むべきものと
大波瀾の計を畫し、夢見に成功の光明
を得る者は勿論、聯合の精神を
のめんと欲するものは、聯合の精神を
船中の海中に推し進めて行く結果、意
の通はず相違ひ生ずれば是れ衝突を起す
の事なるべし、其間衝突を起さざるや
然らば則ち現代の事業に志すものは
所爲の事とせず、前記の言を以て之を
亦爾を去れて是の善惡しなく失敗と
稱して、以て最終の勝利を博する事を期
すべき可からず、而して之を圖するものは
一の勇氣あるのみ、果して然らば新事業
は一に以て成功の機運を發する事となる
て不可測の勢力をもとす、斯に韓國に事業
を志す者は東方に向つて何れぞせずして可なり
らんや（振岳）

朝鮮狩獵案内
(五) 美しき春空
八日付 南三年來日本が頗るにポン
打を蒙りした爲めに近來は頗る減少し
て來たりたが未だ一日の持統に五六羽や七羽の鴨
を獲て一日の食糧に六七數ない鳥類といふ
は東門から林崎寺直道を過ぎ率湖江に沿うて二
三里乃至三里位迄の間で北門からと
夏の方(一里乃至三里位迄の間で北門からと
率湖江へ出て之れに沿つて二里許りを下ると
問との二つあるけ算とも前者の方は比較的に鴨
が好まぬ處ではナリ我れやうが幾多は知つてテ
境内外に及ぶる日本人營業の放店料店等々の
獵事は訪は得べく以て一酌二日の勞力も
要すべし

八日付 大邱から雪の西海軍江の市

[illegible][illegible][illegible]

目下旅順口市街に入込みて如何なる手練
爲せるものか頻りに清人所有各處の地所を
買あつてゐる。

作

放都の母のたよりが来し
梅咲や蘭の華の朝化粧
梅咲や赤玉出ず焼が茶屋
君が代の櫻桃へけり山の
松婆子の櫻桃へける春日
香家より佳み慣れし春憲し
物を千す物の耻からし柳の庭
梅なくて龍樹山の梅事し
對馬より梅を買ひぬ徳便(春の句と忘る)

天奴
同嶺
同雲
同重
同潮

佛西騎兵の花

英日
日本 梅村 藤士 詩佐

幽霊城の探險(ついで)

二人が聞なむられた空云ふのは高いに
に窓が只一つあり計りで、彼洞のはまづ
わな、大熊の頭が出るか出せぬ位の四
の穴と云ふ方が適當である。龍野は酒樽
の上つて其穴から外を覗いて見たが、
世良田「外は全然な雪だ、」
龍野「極の林と雪の積んだ道路が其間に
ゆる計りで。」
と答へながら向は能く見てゐる内、
「龍野!」
と龍野に驚きの叫聲を掛けた。世良田は
學ならんと様にて酒樽の上に飛上りて微
頭の板から覗いて見ると眼の前には唯雪
長い道が見ゆる計り、その中へ一人の男
馬を飛して狂人の様に馳を當て、行くの
見へる、二人は言ひ合した様に其跡を見
つてゐると次第小さくなつた。又少し小
なつてそして何ふの森の中に隠れて了つ
龍野「今のは一体何でせうか」
世良田「僕等の爲めにならぬ方の奴だ。
方何處かの山賊でも呼びに行つて僕等
を斬らせるだらうよ。」「其奴等が来る
鼠窟の中から出てゐなければ大體だ。
二人の胸に夫の異へであつたのはランタ
油が充分入つてゐる事で、明方はでは大
燈つてゐるやうい。若し鼠窟までつた
常に不審を感するけれど。
二人はランブの光で室の隅に潜んで

「さうして、妙を計しては強がりで、
と奮闘しつゝ、室内を動しく踏み鳴らして
力加けやうと怒つてゐるのを、若生
「逃げやうと怒つてゐるのを、若生
實野の此舉動は尤である、而し實野は印
一歩の私闘終りを看へてゐるので世良田は印
此處まで飛過に陥つてゐる事に感ひがけ
いらししと世良田は大きなテラスの切れ
隅りながら心の中を思つた。
左に右に實野の父は十四年の昔に亡くなつた
も、其後其當時の事件を政府で何の断
もせぬのういふは、いふまでもないけれど
（公憤のたふし）云へば世良田の中尉と云へば
國軍軍隊の中で最も勇敢なる將校として
周知されてゐる者であるのに此の小事
爲に其光明ある眼が今般限りに終りを
くると云ふ危險の場合に遭遇した、此
の假想事件に加勢をせうとした爲め此處
げなる大恥と取つて、命を捨てるに決
意するの決心になる、皇帝の爲に何の事
になる世良田はみんな事が無かつたらけ
來士官として如何程昇級するか知れな
であらうに。
世良田は心の中に其馬鹿々々しさを後
るのを然しなかに、彼の前に今般限
も無い大戦争が待つてゐるのに、この
らない探險に出かけて來た爲めに之に
する事も出来ない、二十五萬の國國兵
らしい戦争とするのが嫌でわざと多
家の私事に加勢に來た様なものだ。
世良田は頻りに頭蓋を撞いてゐる體
に向つて、
「さあ君、そんな事はせうでも好い
いか、それより、君の身体が自由にな
へすれば君の好きに爲れるぢやないか
の面談に私が我々をせうしやうと思
か、最も所要なんだ」
實野、彼等の好きな要金をとせら
私は唯、私の父に對する義務を盡
です」
世良田「うや、余り亂暴な話だ、若
父様に義務があるなら、僕は同様に僕
に對して此處を無事に切り脱ける義務
ののだ」
實野は始めて我に關つたらし、
「おれは、自分の事計り考へて、
した、せうも失敗しました、世良田中
我々は是れからせうすれば好いでせう

-41-

一、電話一四九號

三〇
二四
九〇
三六

阿陪梅吉商店

OSAKA

寶船印洋蠟 一石鹼類和洋紙類 一

其他韓人向諸雜貨一式

此本無類

1980

上西酒店

寫眞 金井清四郎 **一日朝寫眞館**



蜂印葡萄酒

 朝壯飲料は本品に類するものなし

齊藤支店
電話番號一四四
合
日本第一
輸入

東京御料理

南濱學通
あ
ひ
電話二四〇

開店廣告

黃燐々寸 安全燐寸 洋鉄各
 白赤さくらあんな 洋釘 各種

石川勝

一〇
 二六
 九七六
 井
 二五
 二四
 六〇

永樂通寶 二二五 八二五

大黒薬店

種
大黒藥店
幸町の廟演助
寛り居る品へをんでしと藥品
工業用品へもくろみふて店もなす
一軒獨逸化粧品寫真用品

最新藥 調の二五
病氣を癒さるゝが、病氣乃爲め、大敵之良藥、撰んで買ひ給
安賣之縁長と

りえ病の種を殺さざるべし
大黒製 精奇水
 睡ひとうりとうの毒をい

風引乃妙藥やいかに
大黒製へブリジ丸
大黒製妙より出し

支店 韓國金田大廳町

會商商商
卸器
美濃
會名商會

本館美濃土版雕泉村
 陶器工

電話二四三

大邑市心齊橋通本
又南久寶寺毗山
代埋店
泰
店
文
平
商
庄
野
村
南
號

願二
上候
候間
倍
御
引立
ヲ希

就テハ第一片大無強仕益々御愛

其他韓人向諸雜貨一式

黃燐寸 一安全燐寸 一鏡眼鏡類
一香油類一石油洗曹塗一寶船印洋蠟 一石鹼類和洋紙類一式

倉成 錦物場

倉成商店

右之外各位之御便利ヲ計リ何品ニ不限御注文品御取次寸御相談ニ應シ可申候條舊續々御用向仰付被下度奉悉願候

本町三丁目一丁六番

●韓人向蓋附釜火鉢火仲 其外鑄造物一式
以上工場ニテ製造致候

洋傘 毛布 韓人 燐寸 石油

●●播
後州
時素
製麵
雨並
傘干
各う
種と
ん

大反賣廣告